

(単位：億円)

(単位：億円)

経営成績

	20/3期 実績	19/3期 実績	増減	20/3期 修正見直し (20/2/5公表)	達成率 (対見直し)
収益	17,548	18,562	▲ 1,014	-	-
売上総利益	2,205	2,410	▲ 205	2,300	96%
販管費	▲ 1,732	▲ 1,734	+ 2	▲ 1,750	
その他の収益・費用	75	24	+ 51	60	
金融収益・費用	▲ 42	▲ 29	▲ 13	▲ 50	
持分法による投資損益	249	278	▲ 29	260	
税引前利益	755	949	▲ 194	820	92%
当期純利益 (内訳)	646	752	▲ 106	700	92%
当社株主帰属	608	704	▲ 96	660	92%
非支配持分	38	48	▲ 10	40	
基礎的収益力(※1)	684	932	▲ 248	760	
包括利益(当社株主帰属)	▲ 42	510	▲ 552		

(※1) 基礎的収益力=売上総利益 + 販管費(貸倒引当金繰入・貸倒償却を除く) + 金利収支 + 受取配当金 + 持分法による投資損益

セグメントの状況【売上総利益】

	20/3期 実績	19/3期 実績	増減
自動車	412	423	▲ 11
航空産業・ 交通PJ	157	155	+2
機械・医療 インフラ	147	136	+11
エネルギー・ 社会 インフラ	257	187	+70
金属・資源	204	376	▲ 172
化学	432	464	▲ 32
食料・アグリ ビジネス	142	164	▲ 22
リテール・ 生活産業	355	387	▲ 32
産業基盤・ 都市開発	60	70	▲ 10
その他	39	48	▲ 9
連結 合計	2,205	2,410	▲ 205

セグメントの状況【当期純利益(当社株主帰属)】

	20/3期 実績	19/3期 実績	増減	前期比増減要因	20/3期 修正見直し (20/2/5公表)	対公表見直し比増減要因
自動車	24	64	▲ 40	前期における自動車関連会社の売却及び、 海外自動車関連会社の販売減少等により減益	20	概ね見直し通り
航空産業・ 交通PJ	18	40	▲ 22	前期の航空機機体売却の反動に加え、 保有船舶の減損計上等により減益	50	航空関連事業の案件期ずれに加え、 保有船舶の減損計上等により通期見直しを下回る
機械・医療 インフラ	46	28	+18	医療インフラ関連や産業機械取引の増加等により増益	45	概ね見直し通り
エネルギー・ 社会 インフラ	96	58	+38	期末の石油権益の減損あるも、発電事業の資産入替や 在米事業会社の税制緩和により増益	80	資産入替を計画通り実行したことに加え、 在米事業会社の税制緩和により通期見直しを上回る
金属・資源	201	305	▲ 104	海外石炭事業の販売価格下落等により減益	215	海外一般炭権益の売却を計画通り実行するも、 軟調な鉄鋼需要により通期見直しに届かず
化学	93	90	+3	概ね横ばい	95	概ね見直し通り
食料・アグリ ビジネス	14	23	▲ 9	国内水産事業の減損や海外肥料事業での天候不順及び 需要低迷に伴う販売数量減少により減益	20	概ね見直し通り
リテール・ 生活産業	60	57	+3	概ね横ばい	75	計画していた資産入替案件の遅れにより、 通期見直しを下回る
産業基盤・ 都市開発	15	11	+4	海外工業団地の引き渡し増加等により増益	10	海外工業団地の引き渡し増加により、 通期見直しを上回る
その他	41	28	+13		50	
連結 合計	608	704	▲ 96		660	

(単位：億円)

財政状態

	20/3末	19/3末	増減
総資産	22,303	22,971	▲ 668
自己資本(※2)	5,791	6,182	▲ 391
自己資本比率	26.0%	26.9%	▲0.9%
ネット有利子負債(※3)	6,132	5,847	+ 285
ネットDER(倍)	1.06	0.95	+ 0.11
リスクアセット	3,800	3,600	+ 200
リスクアセット/自己資本(倍)	0.7	0.6	+ 0.1

(※2) 自己資本は資本の「当社株主に帰属する持分」とし、ネットDERの分母及び自己資本比率の分子には自己資本を使用しております。

(※3) ネット有利子負債の計算には、「リース負債(流動・非流動)」を含めておりません。

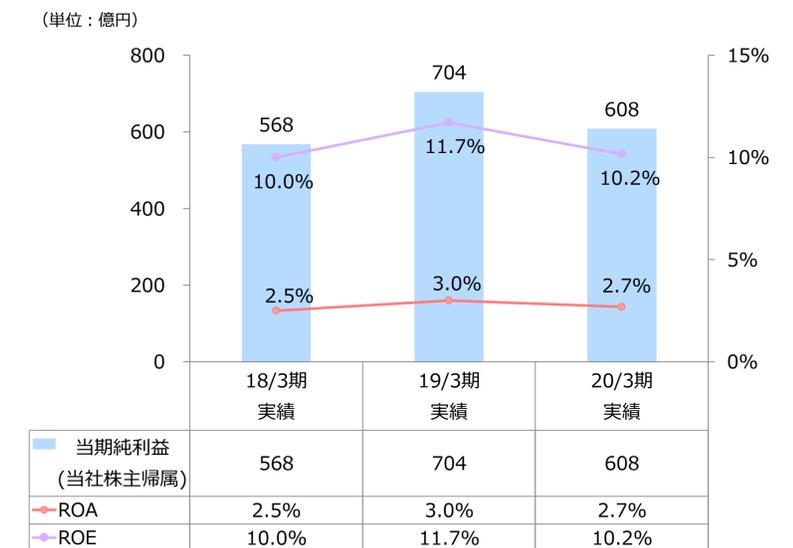
商品市況・為替

	2018年度市況実績 (年平均)	2019年度期初市況前提 (年平均)	2019年度市況実績 (年平均)	2019年度市況実績 (1月～3月平均)
原油(Brent)	US\$70.8/bbl	US\$60.0/bbl	US\$60.9/bbl	US\$50.8/bbl
石炭(一般炭)(※1)	US\$105.8/t	US\$80.0/t	US\$70.7/t	US\$67.6/t
石炭(原料炭)(※1)	US\$202.2/t	US\$180.0/t(上期) US\$170.0/t(下期)	US\$163.6/t	US\$155.0/t
為替(※2)	¥111.1/US\$	¥110.0/US\$	¥108.9/US\$	¥109.1/US\$

(※1) 石炭の市況実績は、一般的な市場価格であり、当社の販売価格とは異なる。

(※2) 為替の収益感応度(米ドルのみ)は、¥1/US\$変動すると、売上総利益で年間5億円程度、当期純利益(当社株主帰属)で年間2.5億円程度、自己資本で20億円程度の影響。

ROA・ROE



経営成績 (単位：億円)

	20/3期 実績	21/3期 見通し	増減
収益	17,548	-	-
売上総利益	2,205	2,100	▲ 105
販管費	▲ 1,732	▲ 1,650	+ 82
その他の収益・費用	75	▲ 20	▲ 95
金融収益・費用	▲ 42	▲ 50	▲ 8
持分法による投資損益	249	180	▲ 69
税引前利益	755	560	▲ 195
当期純利益 (内訳)	646	420	▲ 226
当社株主帰属	608	400	▲ 208
非支配持分	38	20	▲ 18
基礎的収益力(※1)	684	580	▲ 104

(※1) 基礎的収益力=売上総利益 + 販管費(貸倒引当金繰入・貸倒償却を除く) + 金利収支 + 受取配当金 + 持分法による投資損益

財政状態 (単位：億円)

	20/3末	21/3末 見通し	増減
総資産	22,303	23,000	+ 697
自己資本(※1)	5,791	6,000	+ 209
自己資本比率	26.0%	26.1%	+ 0.1%
ネット有利子負債(※2)	6,132	6,800	+ 668
ネットDER(倍)	1.06	1.1	-
リスクアセット	3,800	-	-
リスクアセット/自己資本(倍)	0.7	-	-

(※1) 自己資本は資本の「当社株主に帰属する持分」とし、ネットDERの分母及び自己資本比率の分子には自己資本を使用しております。

(※2) ネット有利子負債の計算には、「リース負債(流動・非流動)」を含めておりません。

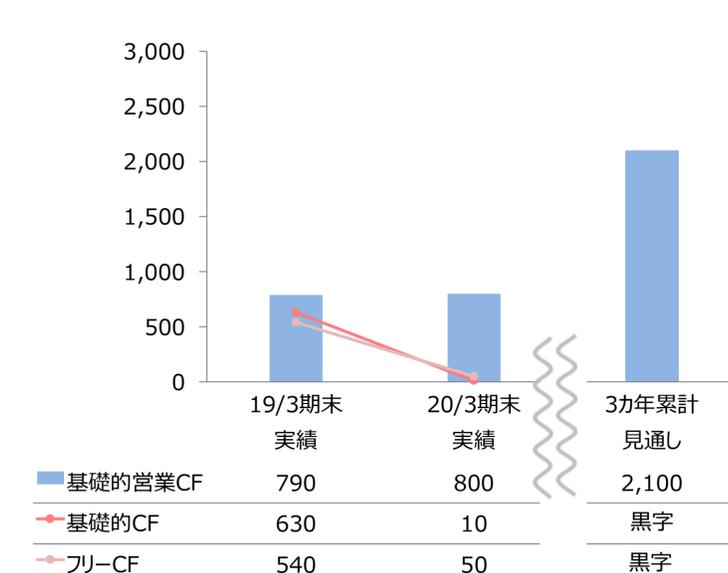
セグメントの状況【当期純利益(当社株主帰属)】 (単位：億円)

	20/3期 実績	21/3期 見通し
自動車	24	10
航空産業・ 交通プロジェクト	18	60
機械・医療インフラ	46	35
エネルギー・社会インフラ	96	35
金属・資源	201	130
化学	93	50
食料・アグリビジネス	14	30
リテール・生活産業	60	55
産業基盤・都市開発	15	5
その他	41	▲ 10
連結合計	608	400

2021年3月期の見方

自動車	需要減少や一部営業停止による車両販売、出荷の停滞等が継続することを見込む
航空産業・ 交通プロジェクト	前年同期ずれした航空機関連事業の大口案件の織り込みや、保有船舶の減損の反動等による増益
機械・医療インフラ	産業機械取引や国内外関係会社など、国内外の需要減退による減益
エネルギー・社会インフラ	油価下落や前期の資産入替の反動等により減益
金属・資源	鉄鋼需要の減退や石炭市況の低迷に加え、前期の海外石炭権益の売却により減益
化学	化学品市況の悪化や取扱数量減少により大幅な減益
食料・アグリビジネス	海外肥料事業の低迷は継続するも、前期の一過性損失の反動による増益
リテール・生活産業	商業施設の一部営業停止、繊維関連事業の需要減退を見込むも、国内外子会社の収益積み上げを図る
産業基盤・都市開発	海外工業団地や国内販売用不動産の引き渡し減少を見込む
その他	構造改革費用を織り込む

キャッシュ・フロー (単位：億円)



(補足) 20/3期末において、現預金2,800億円に加え、円貸1,000億円(未使用)及び16億米ドル(2.6億米ドル使用)の長期コミットメントライン契約を有しており、資金調達機動的性及び流動性確保の補完機能を高めております。

新型コロナウイルス感染症による影響

- ・ 新型コロナウイルス感染症に伴う足元の状況が3ヶ月続く前提とし、当社影響額は▲230億円を見込む
- ・ 赤字低効率事業の見直し・ボラティリティ耐性強化に向けた構造改革費用として▲50億円を織り込む
- ・ 21/3期通期見通しにおける収益構成は、上期2割、下期8割を見込む
- ・ 上記に加え、足元の状況が更に1ヶ月続く場合は、追加影響額は▲80億円の影響が起り得る
- ・ 引き続き、感染拡大に伴う世界経済の動向や、当社事業への影響を注視

商品市況・為替

	2020年度期初市況前提 (年平均)	直近市況実績 (2020/4/27時点)	
原油(Brent)	US\$25.0/bbl(上期) US\$35.0/bbl(下期)	US\$20.0/bbl	(※1) 石炭の市況実績は、一般的な市場価格であり、 当社の販売価格とは異なる。
石炭(一般炭)(※1)	US\$63.8/t	US\$49.4/t	(※2) 為替の収益感応度(米ドルのみ)は、¥1/US\$ 変動すると、売上総利益で年間4億円程度、 当期純利益(当社株主帰属)年間1.5億円程度、 自己資本で20億円程度の影響。
石炭(原料炭)(※1)	US\$135.0/t	US\$115.4/t	
為替(※2)	¥108.0/US\$	¥107.6/US\$	